

## 取組：児童・生徒の発信力強化に向けた言語活動の充実について

### 当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

- 【小中学校】・児童・生徒の授業における言語活動の充実  
・言語活動を通じた指導についての理解の周知  
・小中連携の実施率の向上
- 【高等学校】・新学習指導要領導入に向けた生徒の授業における言語活動の充実  
・4技能五つの領域の言語活動の総合的な指導法の研究  
・即興型ディベートを活用した組織的・先進的な授業実践モデルの提示

### Plan

#### 【小中学校】

- 取組計画：小中連携のモデル地域を指定し、全県に周知を図る。  
体 制：研修協力校授業力向上委員会  
構 成：外部講師（大学教授）、県教育委員会担当指導主事、  
研修協力校を所管する市町村教育委員会担当指導主事

#### 【高等学校】

- 取組計画：計7回の研究会を実施し、取組成果（授業モデル）を全県に周知する。  
体 制：英語4技能指導法研究会  
構 成：外部講師（一般財団法人パラメンタリーディベート人材育成協会（以下、PDA））、学力向上進学重点校（5校）  
及び学力向上進学重点校エントリー校（13校）の計18校

### Do

#### 【小中学校】

- 小中連携を踏まえた研修協力校による取組  
県内の1町内における全小・中学校（小学校3校、中学校2校）を研修協力校に指定し、「聞きたくなる！話したくなる！コミュニケーション活動 ～目的や場面、状況等を意識した外国語の授業づくりを通して～」の共通テーマのもと、授業実践・研究会・報告会を実施した。

#### ■学校悉皆研修（英語授業力向上研修）の実施

令和3年度から3年間で県域の全小・中学校が対象となる「英語授業力向上研修」を実施する。今年度は小学校64校、中学校56校から教員が参加するとともに、各学校において伝達研修を実施した。

#### 【高等学校】

#### ■英語4技能指導法研究会への参加教員による取組

各学校（18校）から数名の外国語科教員が研究会に参加し、PDA主催のもと、参加教員による即興型ディベートの実践及び授業改善に向けた協議等を通して、生徒の学力の向上、特に思考力・判断力・表現力等の育成につながる授業力向上を図った。参加校を3グループに分け、「即興型ディベートを活用した組織的・先進的な授業実践」をテーマに指導計画を各グループで作成し、代表校3校が授業動画を公開した。

### Check

#### 【小中学校】

#### ■英語教育実施状況調査

1. パフォーマンステストの実施状況が向上  
→「言語活動を通して指導し評価する」ことへの理解の高まりが反映。
2. 小中連携の実施状況に課題  
→県内30市町村のうち、17市町村で100%の実施率となったが、  
県域全体で見ると小中連携の実施率が下がっている。

#### 【高等学校】

#### ■授業モデルの構築

→18校について調査した結果、5科目中3科目以上の科目でスピーキング及びライティングの両方でパフォーマンステストを実施している学校が昨年度2校から今年度6校に増えた。

### Action

#### 【小中学校】

- 「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」を通じた周知活動  
外国語教育に取り組む学校に対し、言語活動を通じた指導や小中連携等についてきめ細かな働きかけを実施する。

#### ■小中連携の実施率が高い自治体の取組の紹介

高い小中連携率を保つ自治体の取組を全県に周知する。

#### 【高等学校】

#### ■オンラインでの限定公開による取組の紹介

代表校3校の授業動画を提示し、授業実践モデルを全県に周知することとした。

### 成果の普及

- 全県指導主事会議で県内指導主事に成果を報告【小中学校】  
→研修協力校を所管する教育委員会によって成果を周知する。
- 英語授業力向上研修【小中学校及び高等学校】  
→受講者が各校に持ち帰っての伝達講習により、一人ひとりの教員へ成果を普及し、各学校での取組を広げる。